

http://www

新型インフルエンザ ニュースレター@青森県

Pandemic Flu Newsletter @Aomori Pref

新型インフルエンザ関連情報をお届けする、ニュースレター

新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2011年4月1日から通常の季節性インフルエンザに変わりました。

現在は、「平時」(新型インフルエンザが発生していない状態)です。

<p>発行日 Newsletter Date 2012年5月1日</p>	<p>Front Page 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』2012年第7号</p>
<p>目次 Inside This Issue</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』第7号 2 県内の一部の保健所管内で、インフルエンザ警報レベルが継続 3 新型インフルエンザ等対策特別措置法が成立 4 鳥インフルエンザなどの発生情報 5 編集後記 	<p>こんにちは、青森県保健衛生課です。 多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。 今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を 平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ 対策にもご活用ください。</p>
	<p>Information 県内の一部の保健所管内で、インフルエンザ警報レベルが継続</p> <p>県は、4月26日、平成24年第16週(4月16日~22日)におけるインフルエンザ定点当たりの報告数は、第15週(4月9日~4月15日)に比べ増加し、八戸及び上十三の2保健所管内で警報レベルを超えていると発表しました。 青森県感染症発生動向調査の第16週の定点あたり報告数は、10.0(定点数64ヶ所、報告数637人)となりました。 【青森県 インフルエンザの発生状況4月26日】 http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/files/2012-0425-2102.pdf</p>
	<p>青森県のインフルエンザ発生状況</p> <p>青森県感染症発生動向調査によると、平成24年第14週(4月2日~8日)での定点あたり報告数は8.5(報告数547人)、第15週でのそれは7.2(報告数463)でした。また、第15週には、むつ保健所管内で報告数が再び増加し注意報レベルを上回り、第16週もそれが継続しています。 【青森県感染症情報センター 青森県感染症発生情報】 http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/kansen.html</p>
	<p>Information 新型インフルエンザ等対策特別措置法が成立</p> <p>新型インフルエンザ対策の実効性を高め、国民の生命や健康の保護だけでなく、国民生活や国民経済に及ぼす影響を最小限にとどめることを目的とした「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が、参議院内閣委員会(4月24日)及び本会議(4月27日)で賛成多数で可決されました。 また、参議院内閣委員会では、政府に対して、平時から医療体制の整備を図ることなどの、附帯決議が示されました。 【新型インフルエンザ等対策特別措置法案の概要・全文】 http://www.cas.go.jp/jp/houan/index.html 【参議院内閣委員会による附帯決議】(※追って掲載予定) http://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/current/futai_ind.html</p>

News

鳥インフルエンザなどの発生情報

WHO が確認した鳥インフルエンザ A (H5N1) 感染症例 (2003 年～2012 年 4 月 12 日)

確定症例	602 人
うち死亡例	355 人
致死率	59.0%

鳥インフルエンザ A (H5N1) のヒトへの感染症例

1. エジプト保健・人口省は、4 月 12 日、鳥インフルエンザ (H5N1) の新たな 1 例の確定症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- ・ 患者はギザ県の 36 歳の女性で、4 月 1 日に発症、7 日に入院し、同日死亡。

- ・ 患者は発症前に近隣の鶏に曝露しています。

▶ エジプトでは、167 例の確定患者が発生し、うち 60 例が死亡しています。今年 (2012 年) では 9 例の確定患者が発生し、うち 5 例が死亡しています。患者数はインドネシアに次ぐ世界第 2 位の状況となっています。

【WHO 鳥インフルエンザ—エジプトの状況 4 月 12 日】

http://www.who.int/csr/don/2012_04_12/en/index.html

○ 鳥インフルエンザ A (H5N1) が再出現した 2003 年以降、2012 年 4 月 12 日までに、WHO に報告された鳥インフルエンザ A (H5N1) 確定症例の累計数は 602 人となっており、そのうち 355 人が死亡しています。(致死率は、58.9%)

【WHO ヒトの高病原性鳥インフルエンザ (A/H5N1) 感染確定症例数】

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/EN_GIP_20120412CumulativeNumberH5N1cases.pdf

WHO は、4 月 19 日、「鳥インフルエンザ (H5N1) のヒトの感染等に関する要約と評価 (4 月 2 日現在)」を発表。その概要は次のとおりです。

(前回の要約と評価 (2012 年 3 月 5 日) から 4 月 2 日までの状況)

- ・ 最近の確定患者の発生曲線はこれまでの年と同じく、北半球での冬季の月には発生が多く、夏季に向けて減少するというパターンを示しています。

- ・ 新たに発生した確定患者はすべて散発的な発生で、確定患者に関連した更なる患者は報告されていません。また、1 例を除くすべての患者は病鶏又は死亡鶏若しくは汚染環境に曝露しています。

○ 全体的な公衆衛生上のリスク評価

家禽での発生及びヒトでの散発的発生及び小さなクラスター (感染集団) の発生が今後も予測されています。これらの散発的発生は継続的なヒト-ヒト感染に関する懸念を高める特徴を持っているとは考えられていません。

【WHO 人獣共通のインフルエンザ 2012 年 4 月 2 日現在の要約と評価】

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/HAI_Risk_Assessment/en/index.html

続報 変異型 H3N2 ウイルスのヒトへの感染症例の発生

米国疾病管理センター (CDC) は、4 月 12 日、ユタ州で確認された変異型 H3N2 インフルエンザウイルスの感染患者の詳細を発表

CDC は、4 月 12 日、今年 (2012 年) 初めての変異型 H3N2 ウイルス (*) 感染がユタ州の子供で発生したことを発表。この患者から分離されたウイルス

米国での変異型 H3N2 ウイルス感染患者の状況
(2011 年 9 月～2012 年 4 月 13 日)

発生州	数
インディアナ州	2
ペンシルバニア州	3
メイン州	2
アイオワ州	3
ウエストバージニア州	2
ユタ州	1
合計	13

※黄色マーカー部分は、ヒト-ヒト感染

は、米国内で 2011 年後半から報告されてきた 12 人の変異型 H3N2 感染患者から分離されたウイルスに非常に似ていることも確認しています。

- ・ 獣疫及び公衆衛生当局は、更なる患者の発生の有無を調査中としています。
- ・ この患者は、今年（2012 年）3 月に発熱で受診し、インフルエンザ検査陽性を示したことから、抗インフルエンザ薬タミフルの処方を受け、自宅療養により回復しています。
- ・ この患者は、ユタ州での通常のサーベイランス中に確認されたもので、同州当局の検査で変異型 H3N2 感染可能性ありとされた後、CDC で感染が確認されたものです。
- ・ これまでの 13 人の患者から分離されたウイルスには、遺伝子的にタミフル、リレンザへの耐性を示すものは見られないとしています。

※ブタ由来インフルエンザ A (H3N2) ウイルスで、2009 年に発生したインフルエンザ A (H1N1) 2009 の遺伝子の一部を獲得しているもの。

【CDC 2012 年初の変異型 H3N2 ウイルス感染 4 月 12 日】

<http://www.cdc.gov/flu/spotlights/h3n2v-variant-utah.htm>

インフルエンザの発生情報・研究報告など

○研究：変異型 H3N2 ウイルス、10 歳未満の子供で感染リスクが最大

CDC は、ユタ州での変異型 H3N2 ウイルス患者の確認を受け、10 歳未満の子供がこのウイルスへの感染リスクが最大とする、研究報告を発表。

【CDC 死亡率・発病率週報 変異型 H3N2 ウイルスへの交差免疫性 4 月 12 日】

<http://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/mm6114a1.htm>

○研究：空港でのスクリーニング、パンデミック拡大速度を遅めず

2009 年の新型インフルエンザパンデミック期におけるニュージーランドのオークランド国際空港でのスクリーニングは、それほど高感度なわけではなく、同国への新型インフルエンザウイルスの進入・拡大を遅くすることに関係がなかったという報告。

【EID オークランド国際空港での新型インフルエンザ・スクリーニング 5 月号】

http://www.nc.cdc.gov/eid/article/18/5/11-1080_article.htm

○ベトナム：謎の感染症、WHO、CDC へ確認要請

現地の報道によると、発熱などの症状を起こす謎の感染症が発生し、これまでに 190 人が発症、うち 19 人が死亡したと発表。そのほとんどは子供及び若者で、その症状は高熱、食欲不振、手足の湿疹とされ、同国は WHO、CDC に対して調査要請を行ったとしています。

【スター・トリビューン ベトナムで謎の感染症により 19 人死亡、171 人が発症 4 月 20 日】

<http://www.startribune.com/lifestyle/health/148236915.html>

編集後記

感染症リスクマネジメント作戦講座、受講生募集！（受講申込は5月11日（金）まで必着です）

県では、新型インフルエンザ対策をはじめとする感染症対策を推し進めるべく、感染症の基礎・感染症発生時の基本的ステップなどについての知識・技術を学び、高い専門性を有する実務者及び現場の感染症対策を牽引する指導者を養成し、もって医療機関をはじめとして地域の感染症対策の向上を図ることを目的として、「感染症リスクマネジメント作戦講座」を実施します。

現在、感染症対策業務に従事している又は従事しようとしている若しくは感染症対策に強い関心を有する医療従事者及び行政職員を対象として、受講生を募集しています。

詳しくは、[感染症リスクマネジメント作戦講座](#) **検索** をご覧ください。

※ 本作戦講座は英語表記の頭文字にちなんで、略称を「アイリス」と名付けています。（感染症リスクマネジメント作戦講座 **A**omori prefecture **I**nfectious Disease **R**isk Management **S**trategy Course, "AIRiS"）

発行：青森県健康福祉部保健衛生課

030-8570 青森県青森市長島 1-1-1

Phone:

017-734-9215

Fax:

017-734-8047

E-mail:

hoken@pref.aomori.lg.jp

青森県庁「インフルエンザ対策」

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html

青森県庁「新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県」

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata_flu_taisaku.html#newsletter